



お父さんの血が、どうしてわたしの体に流れているの

お父さんやお母さんと、似た特徴をもっているだけ

赤ちゃんの命は、お父さんの体の中にある精子というものと、お母さんの体の中にある卵子というものが、いっしょになったときに始まります。

そして、赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で育ち、やがて生まれてくるのです。

しかし、だからといって、あなたの体の中に、お父さんやお母さんと、同じ血が流れているわけではありません。お父さんやお母さんからは、顔つきや体つき、血液型などの特徴が遺伝するため、お父さんやお母さんと、似た特徴をもっているだけなのです。

精子も卵子も細胞

わたしたちの体は、小さな小さな細胞からできていて、その数は全部で60兆もあるといわれています。筋肉も骨も、内臓も血液もみんな細胞が集まってできているのです。

精子や卵子も細胞です。精子や卵子など細胞は遺伝子というものをもっています。遺伝子は、親の顔つきや体つきなどの特徴を、子どもに伝えるための、設計図のようなはたらきをするものです。そのため、両親の血液型によって、あなたの血液型が決まったり、あなたが両親に似ていたりするのです。（監修・保志 宏）

